

(1)参加団体名

九州工業大学趙・豊田研究室 九工大 B

(2)参加メンバー

永田哲規(M1)、藤原慶彦(M1)、竹内博昭(M1)

(3)目標としたこと

ARLISS へ向けての予行練習、打ち上げてから制御アルゴリズムの確認、データの回収、制御履歴のプロット

(4)苦勞したこと・工夫したこと

こう体で完全に回路を覆い ARLISS での砂対策とした。
中を開けなくても外側からデータの回収ができること

(5)結果、感想、抱負など

風対策の不十分さが露呈した。ARLISS に向けてコントロールラインの調整と機体バランスを調整する

--